

CriterionSMご利用の流れ

Criterionは先生用と生徒用のサイトに分かれています。
指導する側・受ける側それぞれの立場に立った機能が、効果的なライティング指導を可能にします。



先生用サイト

生徒用サイト

授業準備

先生は授業の前にClassの登録や生徒の登録を行います。
Assignment (課題) の登録も事前に行っておく必要があります。

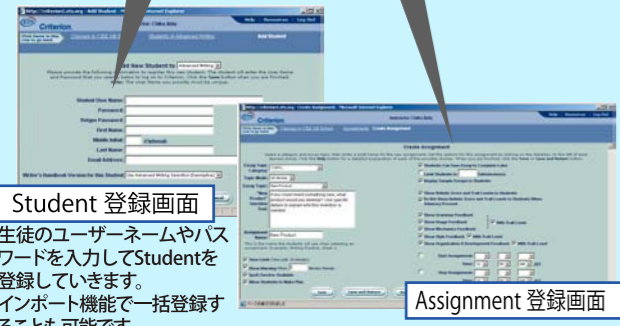
1. ログインする http://criterion.ets.org

教師は管理者から与えられたユーザー名とパスワードでログインします。



ログイン画面

2. Student や Assignment を登録する

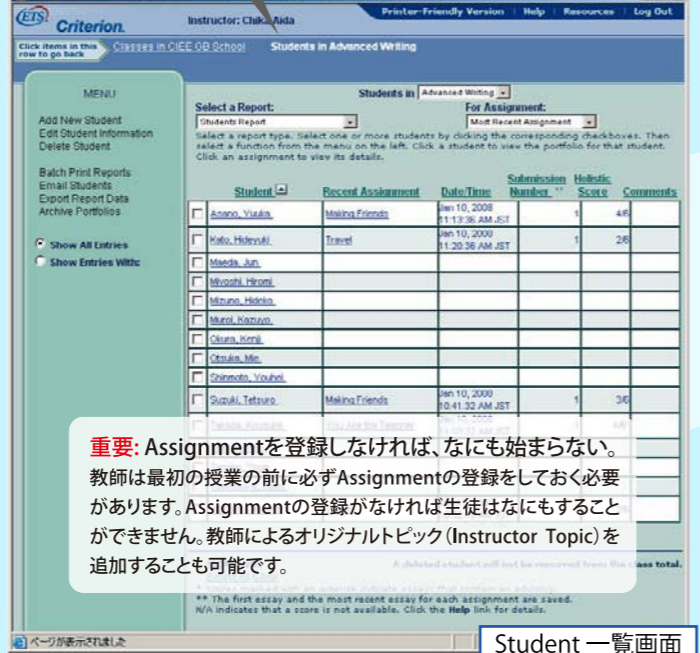


Student 登録画面
生徒のユーザー名やパスワードを入力してStudentを登録していきます。インポート機能で一括登録することも可能です。

Assignment 登録画面

3. 設定内容を確認する

Student一覧画面では、生徒の名前や提出したエッセイの提出回数、スコアなどを確認することができます。

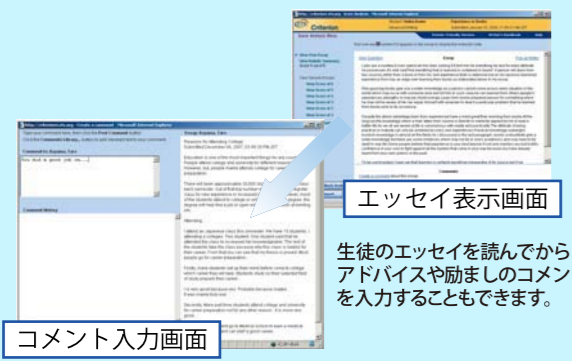


Student 一覧画面

重要: Assignmentを登録しなければ、なににも始まりません。教師は最初の授業の前に必ずAssignmentの登録をしておく必要があります。Assignmentの登録がなければ生徒はなににもすることができません。教師によるオリジナルトピック (Instructor Topic) を追加することも可能です。

授業後

生徒のエッセイ内容やスコア・分析結果の確認はもちろん、コメントの入力、レポートの印刷 (保存) をすることもできます。すぐにデータを活用することができるので、効率的に授業を行うことができます。



エッセイ表示画面

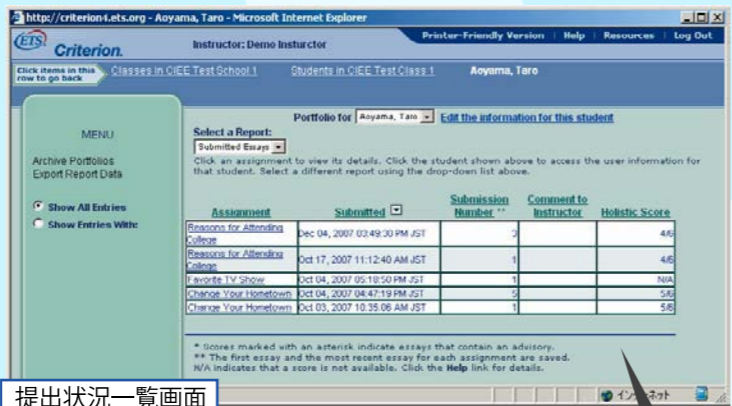
生徒のエッセイを読んでからアドバイスや励ましのコメントを入力することもできます。

コメント入力画面



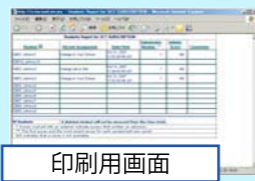
各種レポート機能

スコアや間違いの傾向などを自動的にまとめてくれる便利なレポート機能が指導を支援します。



提出状況一覧画面

各生徒が提出したエッセイの提出日時、提出回数、スコアの確認をすることができ、エッセイを表示させたり、ポートフォリオにアクセスすることができます。



印刷用画面

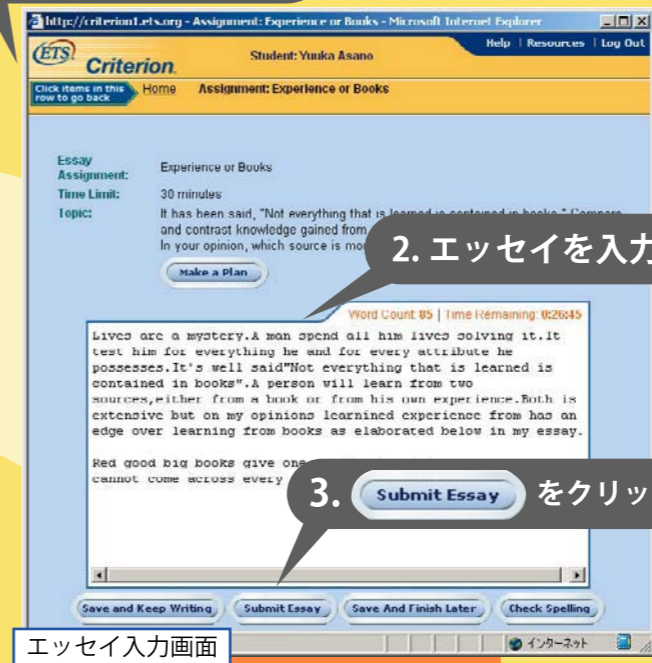
表示した表は、印刷したり、ファイルとして書き出すこともできます。

結果を指導へ生かす

授業中

生徒はログインして、自分のClassに与えられた課題の中からトピックを選択し、エッセイを入力して提出します。

1. ログインする http://criterion.ets.org



エッセイ入力画面

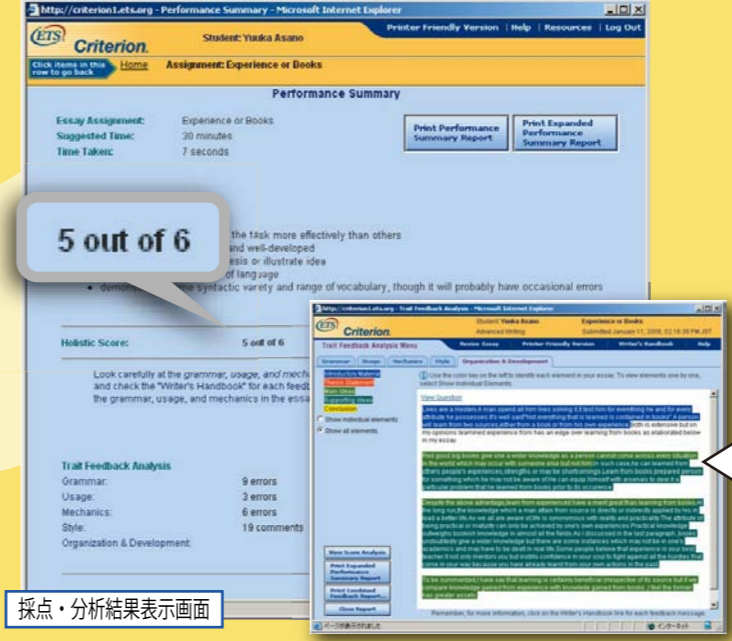
2. エッセイを入力する

3. Submit Essay をクリックする

約 20 秒*

*ご利用環境により20秒以上かかる場合もあります。

自動採点・分析結果表示



採点・分析結果表示画面

分析項目はGrammar・Usage・Mechanics・Style・Organization and Developmentに分かれています。

生徒のための便利なツール群

書く準備

各種 Planning Tools



生徒は8種類あるPlanning Toolsから一つを選んでエッセイのアイデア集めをすることができます。

提出前

Spell Checker



Spell Checkerを使えば、生徒は提出前にスペルに間違いがないかを確認できます。教師はこの機能をオフにすることもできます。

提出後

Printer Friendly Version

表示された結果や分析内容をプリントアウトすることができます。

Revise Essay

“Revise”ボタンを押すと下のような画面になり、Criterionによる分析結果を見ながら書き直すことができます。



書き直し (Revise) ~ 提出 (Submit) を繰り返すことで、自分のエッセイを推敲していくプロセスを身に付けることができます。